

令和8年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	芸術	科目名	美術	単位数	2	履修学年・クラス	1ABC
担当者		使用教材	『高校生の美術1』(日本文教出版)				
学習目標	○美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。						
学習方法	○授業における課題に対して自ら考え、意図に応じて材料や用具の特性を生かしながら、表現方法を工夫し、定期的に課題を提出する。 ○自他の作品について、対象のとらえ方や感じ方、同一テーマによる表現の違いとそれぞれのよさなどに気づき、評価することで、自他の特性や個性について理解を深める活動を行う。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。				
	思	思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。				
	態	主体的に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。				

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	○文字のデザイン	・自分の名前を図案化する。 ・スケッチボックスの表紙にデザインする	○	○	○	[知]用具の名称・使用方法を理解し、正しく用いて効果的に表現している。 [思]表現を創意工夫し、オリジナルな表現を追求している。 [態]意欲的に作品制作に取り組み、他者の作品の良さや工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
	○鉛筆デッサン	・形体・空間の観察・把握 ・材料の理解と表現の工夫 ・他者の作品への評価	○	○	○		
	○立体彫刻	・彫刻の手順を知る ・用具の正しい使い方を理解し、安全に使用する ・制作するものの全体像をイメージする ・他者の作品への評価	○	○	○		
前期末	○二点透視図法を用いた仮想空間の表現	・透視図法について理解する。 ・自由にイメージを膨らませて仮想の空間を創造する。 ・明暗による立体表現を身に着ける。	○	○	○	[知]用具の名称・使用方法を理解し、正しく用いて効果的に表現している。 [思]表現を創意工夫し、オリジナルな表現を追求している。 [態]意欲的に作品制作に取り組み、他者の作品の良さや工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
			○	○	○		

後期中間	切り絵	・切り絵の特徴や美しさを知り、表現の工夫をする ・用具について理解し、美しく仕上げている ・他者の作品への評価	○	○	○	[知]用具の名称・使用方法を理解し、正しく用いて効果的に表現している。 [思]表現を創意工夫し、オリジナルな表現を追求している。 [態]意欲的に作品制作に取り組み、他者の作品の良さや工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
			○	○	○		
後期末	○水彩画(有色背景)	・黒い画用紙に表現することの利点を理解し、明暗と色彩を美しく表現する。 ・対象をよく観察して描写する。 ・他者の作品への評価	○	○	○	[知]用具の名称・使用方法を理解し、正しく用いて効果的に表現している。 [思]表現を創意工夫し、オリジナルな表現を追求している。 [態]意欲的に作品制作に取り組み、他者の作品の良さや工夫しているところを感じ取ろうとしている。	・授業態度 ・作品提出状況 ・作品の完成度 ・他者の作品への評価
	○明暗分割による人物表現	・明暗の階調ごとに色面を分割して表現する方法を学ぶ。 ・表現したいイメージに合わせて配色する。 ・ポスターカラーで美しく丁寧に制作する。 ・他者の作品への評価	○	○	○		